

「有機農業」 って どんな農業？

巻頭で特集した「有機農業」について、
みなさんはどのくらいご存知ですか？
今回は「有機農業」の基本的な知識や、
北海道の有機農業への取り組みについて
ご紹介します。



有機農業とは？

「有機農業」とは、「有機農業」の推進に関する法律」において、
① 化学的に合成された肥料
及び農薬を使用しないこと
② 遺伝子組換え技術を利用
しないこと(※)
を基本として、農業生産に由来
する環境への負荷をできる限り
低減した農業生産の方法を用い
て行われる農業とされています。
有機農業と聞かれると無農薬
栽培であるイメージされる方
もいるかもしれませんが、有機農
業では、一定の条件下で定められ
た農薬(生物農薬など)の使用が
認められています。

※国内における食用の作物生産(慣
行栽培を含む)において、今までに遺
伝子組換え由来の種苗が利用された
例はありません。

「有機JAS認証」とは？

「有機JAS規格」は、日本
農林規格(JAS)の一つで、有機
農産物の生産方法について定め
られた規格です。「有機JAS
認証」とは、この基準に適合し
ているかどうかを第三者機関が
検査し、認証する制度です。
有機JAS認証を取得した
農業者の農産物や農産物加工
食品には、「有機JASマーク」
の使用が認められ、このマーク
がついているもののみが「有機

〇〇」や「オーガニック〇〇」と
表示することができます。認証
を取得していないものに「有機」
「オーガニック」と表示するこ
とは法律で禁じられています。

また、有機JAS認証は、国
際基準に基づいており、有機J
AS認証を自国の制度と同等
と認めているアメリカやEUな
どへ有機JAS認証の農産物を
輸出した場合、輸出先での認証
を取得しなくても「オーガニッ
ク」と表示ができます。

CHECK!

有機農業の現場

有機農業は、農薬を使用しな
いため、除草に労力がかかりま
す。また、病害虫の被害を受け
やすく、化学肥料の不使用によ
り収穫量が不安定になるため、
農産物の価格は高くなります。
有機農産物を安定的に生産
するためには、病害虫に強い品
種の開発や除草作業の機械化
による省力化が重要です。



幕別町 折笠農場さんの大豆畑
の除草(カルチ)作業の様子

「環境にやさしい」 有機農業

はじめにお話ししたとおり、
有機農業は、「環境への負荷を
できる限り低減する」生産方
法を用いて行われる農業とさ
れていて、化学的に合成され
た肥料及び農薬を使用しないこ
とによる「生物多様性保全効
果」や、土壌への炭素貯留など
による「地球温暖化防止効果」
が認められていることから、S
DGsやカーボンニュートラル
の達成にも貢献する取り組み
です。
道では、主に左図のSDGs
のゴールを有機農業に関連づ
けています。

北海道の 有機農業の取り組み

道内で有機JAS認証を取
得した農家戸数は令和3年度
で304戸(全国2位)、認証
面積は5434ha(全国1位)
となっています。

有機農業に取り組み農家は、
地域別に見ると、上川、空知、オ
ホーツク、石狩、十勝の順で多
く、取り組み面積では、オホー
ツク、上川、十勝で約6割を占
めています。また、品目別では、
そばや大豆、水稲、ばれいしょ、
かぼちゃ、牧草などが多く生産
されています。

有機農業の推進に向けて

道では、今年3月に「北海道
有機農業推進計画(第4期)」
を策定しました。計画では、有
機農業を、農業本来の自然循
環機能を大きく増進する生
産方式であり、道産農産物の
ブランド化にも寄与する重要
な農業形態の一つと位置付け
ていることから、今後、生産拡
大はもちろん、様々なイベント
を通じて消費者の理解醸成を
図るための取り組みを行って
いきます。

オーガニックの市場は年々
拡大しており、スーパーマー
ケットなどでもオーガニック

の商品が増えてきました。み
なさんも、「環境にやさしい」
有機JASマーク食品を見つ
けたらぜひ手に取ってみてく
ださい。

有機農業に関する
イベント情報は
道のHPに
随時掲載中です



<https://www.pref.hokkaido.lg.jp/ns/shs/yuki/event.html>

POINT

北海道SDGs推進ビジョンにおける 有機農業の位置づけ



DATA



DATA

